



## 夏のアイテム「傘」のマナー

いよいよ夏本番！日差しの強い日が続いていますね。暑さや紫外線から身を守る手段として日傘は、老若男女活用する方が増えています。雨の日はもちろん、日差しの強い日も活躍する傘。さすときだけでなく、持ち歩くとき、あなたは傘の扱いに気を配っていますか？今回は傘のマナーについてご紹介します。



### 持ち方（さしているとき）



傘を肩にかけ、斜めにさして歩いていませんか？肩にかけて歩くと、後ろで歩いている人の視界を妨げてしまいます。体の中心でまっすぐ持ちましょう。ハンドルは「J字」の短いほうを自分側に向けて持つことで安定させることができます。

### 持ち方（閉じているとき）

傘の本体部分をつかんで持つと、後ろの人に石突が当たる可能性があります。また、最近リュックに差している方も多く、不意にしゃがんだり、前傾になったりすることで危険な場合も。地面と垂直に持ちましょう。



### 日傘をつかうとき



暑さや紫外線対策で活躍する日傘ですが、人混みや細い道では、周りとの距離感に注意が必要です。状況に応じて使用を控えるなど、帽子や他のUV対策と併用して周りに配慮しましょう。

### 電車やバスの中での配慮

ぶつかったり、相手の傘で濡れたりしやすい車内。乗り込むときは、水滴を落とし、たたくでベルトを留めます。つり革や腕、バックに引っ掛けず、手で持ちましょう。

### 雨傘の水滴

傘立に入れるときは、水滴を落としましょう。周りの人に水滴がかからないように、閉じた傘を上下に軽く振ります。撥水効果の高い傘がおすすめです。防水スプレーをしておけば、水滴をタオルでふき取るひと手間も、楽になります。最近人気の傘袋も活用してみましょう。



### 傘にまつわる まめ知識

道などですれ違う際、さしている傘を相手と反対側に傾けるしぐさのことを「傘かしげ」といいます。お互いにおこなうのが理想的です。相手の心遣いに、「ありがとうございます」や、ぶつかってしまったても「失礼しました」など、言葉も添えるといいですね。



傘の扱い方ひとつで、あなたの人柄がわかるもの。ちょっとした気配りで気持ち良く過ごしましょう

